



有明高専だより

第149号

2016.6



電子情報工学科棟屋上からの眺め



授業参観



図書館での授業



春季歓迎球技大会(バレー)



春季歓迎球技大会(卓球)



校長だより	2
入学式・入寮式／新入留学生紹介／留学生歓迎会	3
新任教職員紹介／人事交流教員紹介	4・5
特集 有明高専変革2016	6・7
4年生研修旅行	8・9
JABEE認定継続実地審査を終えて／ 学生の活躍 (LSIデザインコンテスト/ソレノイドコンテスト/日本物理学会)	10

目

次

2年生研修旅行	11
岱明寮だより	12
春季歓迎球技大会	13
授業参観／校長講話／平成27年度 卒業式・修了式	14
卒業生・修了生の進路／学生表彰	15
トピックス／編集後記	16

(※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

(数字: 学年、但し、6・7は専攻科1・2年。M: 機械工学科、E: 電気工学科、I: 電子情報工学科、C: 物質工学科、A: 建築学科、但し、1・2年生は学年 - 組)

校長だより

高橋 薫



有明高専校長となって

本年4月に有明高専の校長として着任いたしました。これから本校のために皆さんとともに歩んでいこうと思っておりますのでよろしくお願いします。

私の最初の高専の職場は仙台高専でした。それからほぼ20年が経ちます。初めて高専に触れたときは少なからずカルチャーショックを受けました。15歳から20歳までの本科、またその上に2年間の専攻科があることがそうでした。高校生相当の学年もあり、大学生相当の学年もあるので、どう学生に接したらいいのかとまどうことばかりでした。低学年には自立化の支援・モラル遵守などのための生活指導がある一方、高学年・専攻科には社会人一步手前の人間として接する必要があるからです。これが同じ学校で起こるわけですから、自分自身きちんとした考え方・態度を持って学生に対さないと、自身も学生も、また学校としても混乱するばかりです。このことに慣れ、保護者を含めてよいお付き合いをできるようになるにはかなりの時間を要したことを記憶しています。と言っても、常に課題を抱えていたのも事実でした。

仙台高専では、担任、部活、寮、教務、学生支援、進路支援、国際交流、学校運営など、すべての高専業務を経験させていただきました。もちろん、自身の研究モチベーション維持のため、研究にも力を入れました。学生と最も深く触れ合えたのは研究指導を通してでした。部活は野球部の顧問(監督)を15年以上していたのが印象深く、ここでも多くの学生、保護者と泣いたり、笑ったり、怒ったりと、深い関係を築けました。自身、大きな成長の場でした。

本校着任前3年間は高専機構の本部(東京)において、全国高専の研究と産学連携の推進業務を行っていました。高専は教育機関であるという国の認識もあり、

またカリキュラムや学校業務がきついせいもあり、なかなか高専で研究を推し進めるには難があるのが現状です。しかしそれでも、高専の性質上、大多数の教員は世の中の最新技術を常に学生教育に反映するのが使命であり、研究の必要性があります。また、国から高専全体に交付されるお金も毎年減少している現状もあり、教員は研究・産学連携を通して外部から資金を獲得することも重要です。それが学校運営にも資することになります。必ずしも全教員に求められることではありませんが、教育・学生指導を第1の使命としながらも、研究・産学連携に努めることが大切です。以上のことは、学生の皆さんにもお伝えしたいことです。

これまで述べてきたような私の背景・経験の下、有明高専の伝統を踏まえて、よりよい学校にしていければと考えています。そのため、これまでのよいところはそのまま踏襲し、改善すべきと思ったところは積極的に変えていきたいと思っています。例えば、学生への手厚さ・丁寧さは本校の非常に良いところであり、これを低下させない努力をすべきとする一方、より自立心を育む方策も必要と考えます。また別の例として、学生の国際交流をこれまで以上に進めて、グローバルな視点を持った多くの学生を育てていきたいと思っています。

校長に着任して間もないこともあり、まだまだ学校のことで知らないことがいっぱいあります。これから、学生の皆さん、教職員の皆さんにいろいろ教えていただき、よりよい学校となるよう皆さんとともに努力していきますので、温かく見守っていただければ幸いです。学生、教職員、保護者、関係各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

入学式・入寮式

4月6日(水)

4月6日(水)、10時から第一体育館において第54回入学式、第16回専攻科入学式が挙行されました。本年度は、谷口功高専機構理事長から挨拶がありました。新入生208名、4年次編入学生16名、3年次編入留学生2名、計226名及び専攻科生29名の入学が許可されました。入学生代表の宣誓を1年4組の西山裕貴さん、専攻科生代表の宣誓を生産情報システム工学専攻の西久保友紀さんが行いました。14時30分から岱明寮食堂ホールで行われた入寮式では、82名の新入生の入寮が許可されました。

新入生の皆さんのこれからの学校生活が充実したものになることを期待しています。

入学式



本科入学生代表宣誓



理事長挨拶



入寮式

新入留学生紹介

3M トルガ(アリウナー トルガ)

私はモンゴルから来ましたトルガといいます。機械工学科の3年生です。

モンゴルについて紹介します。日本では、チンギスハーンと朝青龍がよく知られていると思います。ロシアと中国の間に位置しており、首都はウランバートルです。言語はモンゴル語、面積は1,566,000km²で、人口は約300万人です。

モンゴルは相撲の強国としても有名です。幼い頃からモンゴル相撲をするからです。モンゴルの伝統的な楽器は馬頭琴です。一番寒い地方は、冬になると-40度を超えます。

日本で勉強することになって本当に嬉しいです。日本の漫画が好きです。学校の皆と仲良くなり、たくさん友達をつくりたいです。まだまだ分からないことがたくさんありますが、頑張ります。これから、よろしくお願いします。



3A メー(メイ ソーメートレイ)

私はカンボジアから来ましたメーといいます。建築学科の3年生です。

皆さんは、カンボジアといえばまずアンコールワットを思い浮かべるかと思います。カンボジアは東南アジアにあり、日本から飛行機で9時間程かかります。面積は181,035km²で、タイ・ラオス・ベトナムに囲まれています。季節は、雨季(6月~11月)と乾季(12月~5月)の2つがあります。首都はプノンペン(PHOM PENH)です。人口は約1,500万人で、日本の約1/8です。カンボジア人の95%は仏教を信じています。公用語はクメール語です。

カンボジアは発展途上国なので、技術者や外国と協力し努力することが大切なのです。最近、AEON・IZUMI・MINEBEAといった日本の会社がカンボジアに投資しています。これからも、カンボジアに日本の会社が増えていくと思います。

私は日本に留学して、楽しいこととともに、さびしいこともあります。早く新しい環境に慣れて、自分の好きな科目を頑張って勉強します。友達をつくり、いろいろなことを体験したいと思います。これからよろしくお願いします。



留学生歓迎会

4月22日(金) 国際交流室員 堀田 源治

平成28年度留学生歓迎会が、4月22日(金)の放課後に修己館で開かれました。

今年度は外国人留学生として、機械工学科3年にモンゴル国からトルガ君、建築学科3年にカンボジア王国からメー君が入学し、有明高専の仲間入りをしました。

歓迎会には、同級生をはじめとするたくさんの学生、在校留学生、担任の先生やそのほか教職員が参加しました。

はじめに高橋校長先生から2人に対する歓迎のあいさつがあり、その後、トルガ君とメー君から自己紹介と母国の紹介がありました。両名とも上手な日本語で、それぞれのお国の地理・料理・文化などを、プロジェクターを使って紹介してくれました。

吹奏楽部による「♪明日がある」の演奏、村岡学生主事による乾杯があり、歓談タイムでは大変盛り上がりしました。歓談の途中では学生会長5C本田君からの歓迎スピーチがあり、吉田教務主事からのスピーチで会は盛況のうちに終了となりました。

メー君とトルガ君にはこれから3年間の学生生活を楽しく充実したものにしてほしいと思います。



留学生歓迎会後の記念撮影
(校長先生の左がメー君、右がトルガ君:修己館にて)

新任教職員 紹介



本校に着任された13名の教職員の方々に、次の4つの質問に答えていただきました。

Q1 本校に来る前は？

Q2 高専あるいは本校学生の印象は？

Q3 趣味は？

Q4 抱負を一言

藤原 ひとみ 創造工学科 人間・福祉工学系 建築コース 助教

- A1** 奈良女子大学の住環境学科で教務補佐をしていました。奈良女子大学では設計演習の補助や学生支援に関する業務などを行っていました。
- A2** 学生が明るく元気に挨拶をしてくれるので朝から元気を貰います。自然あふれる素晴らしい環境で活き活きと学生が学んでいるという印象です。
- A3** 限定したものではありませんが、音楽鑑賞、読書、まち歩き、食べ歩き、観劇、映画鑑賞なんでも好きです。全く詳しくはありませんが、乗り物に乗るのも大好きです。ストレスがたまると歌います。
- A4** 学生時代という貴重な時間を共に過ごせることを嬉しく思います。お互いに良い影響を与え合い共に成長していけるよう精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



正木 哲 創造工学科 人間・福祉工学系 建築コース 助教

- A1** 九州大学で研究員をしていました。研究テーマは新しい木質建材を使った木造住宅を建築計画の観点から考案・開発するもので、実際の住宅を企画・計画・設計も行ってきました。住宅を建てようかと検討している皆様、ご相談お待ちしております。
- A2** 教職員同士でコミュニケーションをしっかりと取っているという印象です。また、学生の皆さんはとても明朗快活で、自分の考えをきちんとプレゼンテーションできる能力がとても高いと感じました。
- A3** 音楽鑑賞。気分に合わせてオールジャンルです。学生時代はバレーボールばかりしていました。
- A4** 教員としていち早く仕事に慣れて、教育・研究に貢献できるようになりたいです。よろしくお願いします。



中島 亨輔 一般教育科 助教

- A1** 九州産業大学の語学教育研究センターで常勤講師として英語を教えていました。
- A2** 学生のみんなは元気があって清々しく、やる気に満ち溢れているように感じます。いつも気持ちの良い挨拶をしてくれるので、こちらも爽やかな気持ちになります。
- A3** 6歳の時からずっと、サッカーをやってきました。でも、3年前に膝の靭帯を断裂してしまっからはゴルフをするようになりました。
- A4** 高専という環境に身を置くのは、学生としても教員としても初めてで新鮮なことばかりです。この気持ちをいつまでも忘れずに有明高専と学生さん達の力になっていきたいです。



新里 浩子 総務課(企画情報係)

- A1** 家で家事をしていました。
- A2** 全体的に落ち着いていていながらも大きく元気な声が聞こえるので、明るい学生さんの多い印象です。
- A3** 趣味と云えるか分かりませんが、モノがこちゃこちゃしている場面を目にすると自動的に片づけ始める癖があります。
- A4** よろしくお願ひいたします。



保田 裕 総務課(総務係)

- A1** 九州大学法学部で刑法を学んでいました。
- A2** 学生の元気のよさが印象的です。大きな声での挨拶や通学風景を見ると、こちらも元気をもらえます。
- A3** お気に入りの音楽を聴きながらの読書とインドアスポーツです。
- A4** 社会人一年目で、右も左も分からないことへの不安や緊張はありますが、微力ながらも有明高専のお役に立てるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



青柳 洋平 教育研究技術支援センター(電気系技術班)

- A1** 九州大学で潮流データの測定、解析を行っていました。その後民間の会社で配管工事、メンテナンスに従事していました。着任の前は電気分野の修得に努めていました。現場を転々とした日も多少あります。
- A2** 校を見ても平然としている方ですが、本校の校には趣を感じました。学生は賑やかだったり、おとなしかったり、学生によって様々という印象です。挨拶には驚きました。
- A3** 家事、散歩、音楽(鑑賞、演奏どちらも)、天体観測等何でも、自分が趣を見出せばそれが趣味です。全てを挙げると多い方だと思います。
- A4** みなさんのお役に立てるよう、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



宮成 隆明 総務課長

- A1** 北九州高専で総務課長をしていました。
- A2** 自然に囲まれ、校内も緑にあふれ、学生も元気よく挨拶をしてくれてとても気持ちが良いです。
- A3** 現状はほぼ無趣味な状態で、宿舎ではテレビが唯一の話し相手です。また、以前にテニスをしたことがありますので、出来ればまた始めてみたいと思っています。お誘いいただければ幸いです。
- A4** 皆様方のご指導・ご支援のもと、微力ではありますが本校の発展に貢献できればと考えております。よろしくお願いします。



前田 俊哉 学生課長

- A1** 熊本高専学務課長として八代キャンパスで勤務していました。
- A2** 有明高専は緑に囲まれた自然あふれる学校で、教育や生活を行う環境としてはとても良いと思います。学生も元気がある学生が多いと思います。
- A3** 無趣味です。熱しやすく冷めやすい性格なので、そういう意味では何でもある程度かじっています。
- A4** 有明高専は創造工学科元年でもあり新しい風が吹き込んでいるのを感じます。学生課は、学生の皆さんが入学から卒業、そして全員が社会に羽ばたいていくまで全力で応援します。各種手続き等で分からないことがあったら気軽に学生課窓口まで。



太田 邦雄 総務課 課長補佐(予算財務担当)

- A1 熊本大学財務課で、契約等の会計手続きが法律や規則に基づき適正・適切に行われているかを監査する業務に従事しておりました。
- A2 学生さんが元気で挨拶してくれることは大学で経験したことはなく、大変新鮮です。
- A3 最近、健康維持を目的に、フルマラソンやウルトラマラソンに出場しています。以前は、シーバス専門のスポーツフィッシングに夢中でした。全ての運を使い切ってしまったのですが、熊本県の大会で年間優勝したことが自慢です。
- A4 何もかもが新鮮で、これからどのような経験ができるのか大変楽しみです。「明るく、楽しく、前向きに」精一杯業務に取り組みますので、どうぞよろしくお願いいたします。



江島 美穂 学生課 教務係長

- A1 熊本大学で医学・薬学教育部の大学院博士課程教育プログラムの仕事をしていました。
- A2 7年ぶりの有明高専ですが、学生さんが元気に礼儀正しく挨拶されるので、こちらも気が引き締まります。
- A3 旅行、温泉に行くことです。
- A4 教務は初めての業務でまだ、慣れていませんが、少しでも学生さんのサービス向上にお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



古賀 つかさ 教育研究技術支援センター(機械系技術班)

- A1 大分高専で機械系の技術職員をしていました。
- A2 現在は機械工学科の2～5年生の授業担当に入らせてもらっています。4、5年生は少人数で実験を行っているからなのか、みんな積極的に実験に取り組んでくれるんだという印象を持ちました。2、3年生も真剣に機械実習に取り組んでいるし、挨拶をよくしてくれて明るくていい学生ばかりだなと思いました。早く学生さんの名前と顔を覚えたいです。
- A3 パン作りとダーツ観戦です。
- A4 慣れない面もありますが、早く授業内容を覚えて安全に授業が行えるよう注意し頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



下田 幸子 学生課 事務補佐員(寮母)

- A1 有明広域消防本部の臨時職員として働いていました。
- A2 緑が豊かで、素直な学生が多いという印象です。
- A3 グラスアートでステンドグラス風の絵柄を加工し楽しんでいます。
- A4 学生が寮で過ごす貴重な日々の生活に、少しでもお役に立てるよう精進していきたいと思っています。



太田 順一郎 テクノセンター 産学官連携コーディネーター

- A1 大牟田の永利公認会計士・税理士事務所におりました。今も本校への出勤日以外は事務所にしています。
- A2 出身は東京で昭和55年に初めて大牟田に来ましたが、今回改めて学校についてあまり良く知らなかったことに気が付き、驚きました。先生方も興味深く、社会に役立つ研究テーマに幅広く取り組んでおられ、学生の皆さんも真面目で優秀だと感じています。でも学校の位置だけでなく、何となく遠くに感じていたのは私だけだったのでしょうか。
- A3 最近あまり出かけられませんが温泉巡りです。今回の熊本を中心とした地震で暫くはそれどころではないですね。
- A4 新しい有明高専をハブとした、官、民、学の連携が生まれると面白いですね。特に当校の在る大牟田を中心とした地元が活力ある地域となると嬉しいです。実現に向け、少しでも貢献したいと思っています。

人事交流 教員紹介

今年度、人事交流教員として、佐世保高専から本校に着任された田中泰彦先生と久留米高専から戻られた篠崎先生に、次の2つの質問に答えていただきました。

Q1 2つの高専の違いは？ Q2 2つの高専の学生の違いは？



田中 泰彦 創造工学科 環境・エネルギー工学系 准教授(佐世保高専から着任)

- A1 まだ分かりません。その違いを探るために有明高専に赴任しました。1年間の交流期間で、同じ「高専」だけれども、有明高専と佐世保高専で何が違うのかをじっくりと探っていきたいと思っています。その中で、良いところを沢山見つけて、佐世保高専に持ち帰りたいです。
- A2 こちらもまだ分かりません。ただ、漠然としたところでは、両校の気質がそれぞれあるのかな？と感じています。是非、有明高専の学生の皆さんには、「佐世保高専の学生には、ここは負けないぞ!」といった良いところを、色々と見せていただきたいと思っています。有明高専と佐世保高専の学生が、両校で切磋琢磨する関係を構築できれば素晴らしいでしょうね。



篠崎 烈 創造工学科 人間・福祉工学系 メカニクスコース 准教授(久留米高専から戻られた)

- A1 「久留米高専と有明高専の違いは?」と聞かれて一言で答えるとすれば、「学生の育て方」だと思います。久留米高専では学生達が自分達で計画して、自分達のやり方で動きます。だから成功も失敗もある。有明高専では、学生と教職員が一緒に同じテーブルで議論し合い、より良くなる方法を「考えて」「考えて」「考え抜いて」実行に移す。どちらも社会では大事な方法だと思います。
- A2 学生の違い?と言われると難しいですが、久留米高専に行って気付いたことは、「あ〜、同じ高専生なんだ!」ということでした。言われたことに「はい」という返事に対応し、実は裏で「自分達のやり方」を考えている。久留米も有明も同じ学生達でした。

特集 有明高専変革2016

有明高専は

創造工学科の1学科

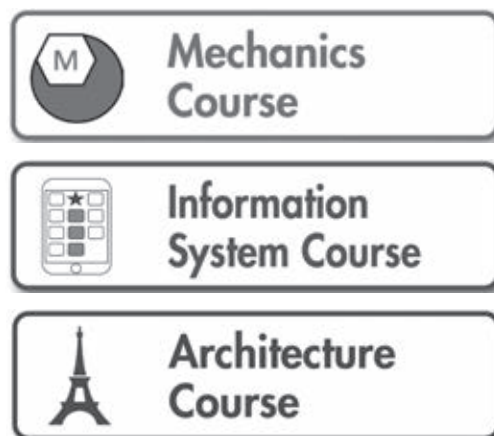
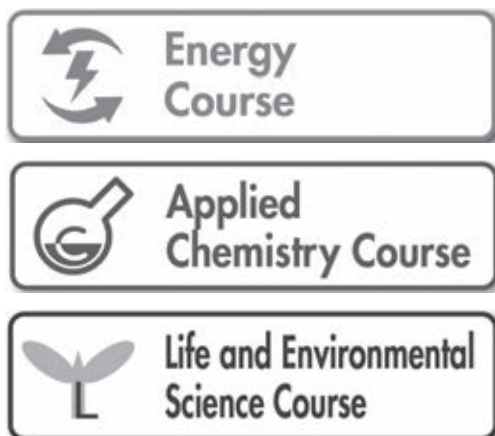
平成28年度から
に変わりました!

平成28年4月1日、有明高専は大きな変化を遂げました。それは、創造工学科への生まれ変わりです。組織を改めることを改組と呼び、大学や高専などでは学科組織が変わることを指します。昭和38年4月1日に設置された有明高専ですが、設立当初は機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科のみでした。その後、昭和43年に建築学科、平成元年に電子情報工学科がそれぞれ増設され、5学科となりました。平成6年には、工業化学科から物質工学科への改組が行われ、現在の2年生以上が所属している5学科体制が始まりました。また、平成13年に2年生混合学級がスタートし、平成19年には、夏休み前に前期が終了するという現行の行事予定に変更されました。このように、一見、変化のないように思われる学校という組織も、時代の移り変わりとともに少しずつ変わってきました。しかし、今回の改組は、すべての専門学科が関わっており、有明高専が始まって以来の大きな変革です。

大きな変更点は、これまでの5学科を廃止し、創造工学科としてひとくくりになったことです。創造工学科は、環境・エネルギー工学系と人間・福祉工学系の二系で構成されています。環境・エネルギー工学系では、自然と向き合い、環境問題やエネルギー問題、食糧問題などの課題に取り組む技術者の育成

を目指しており、エネルギーコース、応用化学コース、環境生命コースの3コースがあります。また、人間・福祉工学系では、人々の生活の質の向上と都市問題や高齢化社会の問題などの課題に取り組む技術者の育成を目指しており、メカニクスコース、情報システムコース、建築コースの3コースがあります。今年度入学した1年生は、2年生の後期から各コースに分かれ、それぞれの専門分野を勉強することになります。また、全コースあるいは各系の共通科目も設定されており、1年生では製図や工学基礎Ⅰなどを全員が受けています。

今回の学科改組の理由は、「科学技術の融合化・複合化が著しく進んでいる現在、企業や大学が求める人材は、これまでの専門分野に偏った技術者ではなく、多様な知識や技術を有し、グローバル化にも対応できる新しいタイプの技術者となってきたことから、そのような人材をよりの確に育成するため」です。皆さんは、これからの社会がどのように変化・発展していくか、想像したことがありますか。最近の話題としてはIoTがあります。「Internet of Things(モノのインターネット)」のことで、これまでインターネットに接続されていなかったあらゆるモノがインターネットに接続され、構築された新たなネットワークを使って新しい価値を生み出そうという取り組みです。



新しいコースのマークです。何を表しているか分かるかな？



リニューアルした本校HPのトップページ

例えば、自宅のドアの鍵や照明がIoTにより、インターネットに接続されることを考えてみましょう。ネットワーク上にあるため外出先であっても施錠・解錠の状況やオン・オフが確認できたり、応用して子供やお年寄りの存在を検知したりすることが可能となります。あるいは、まったく別の利用方法が生まれるかもしれません。このように、これから到来する新しい産業では、従来の機械工学や電気工学などの専門分野に囚われることなく、様々な分野の融合化や複合化に対応していかなければなりません。このことは、新1年生からの時代に限ったことではありませんので、2年生以上の学生も、これを機会に未来のことを考えてみてはいかがでしょうか。

最後に、有明高専では、改組の他に今年の4月から変わったことがいくつかありますので、ご紹介します。

○90分授業スタート！

本校では、4月から1コマ90分授業が始まりました。変更されてから約3カ月が過ぎようとしていますが、皆さん慣れましたか？90分は長く感じるかもしれませんが、この変更により次のようなメリットが生まれました。それは、時間に余裕ができたということです。現行の4時間（4コマ）は従来の8時間（8コマ）と同じ授業時間数ですが、90分授業にしたことで、これまでの7時間目とほぼ同じ時刻に終わることができ、約1時間の余裕が生まれます。従来の7時間目と同じであれば、これまで通りと思うかもしれませんが、通年で週1コマの科目が半期で週1コマにまとめられ、

全体として時間割の科目数が減っています。3時間目で終わる日が増えていることに気がついている人もいでしょう。せっかく空いた時間は、授業のフォローや課外活動など有効活用しましょう！

○Blackboard Learn™ の利用開始

Blackboard Learn™ とは、LMS（学習管理システム）のひとつで、授業におけるICT活用を支援する「授業支援システム」です。教材公開や連絡事項、テストや課題の実施、成績の管理・開示などの機能があります。本校では、これまでeefeeを利用して、単位の確認や各種申し込みを行ってきましたが、Blackboardは、このeefeeを高機能にしたようなシステムです。例えば、自宅で学習ができるような教材を配付したり、webテストを実施したりすることが可能です。現在、盛んに導入されようとしているアクティブラーニング（AL）でも利用されており、ALの授業形態のひとつである反転授業での活用も期待されています。本格的な運用はまだこれからですが、これから取り入れられる授業も増えてくると思いますので、楽しみにしておいてください。

○学校ホームページリニューアル！

4月1日から、本校のホームページのデザインが新しくなりました。改組に合わせて、デザインを一新しています。内容は、従来のコンテンツを引き継いでいますが、見た目は大きく変わっていますので、まだ見ていない人は一度訪れてみてはいかがでしょうか。

研修旅行を終えての4M編入生の感想 4M 西川 直人・古財 圭祐・土屋 秀峰

東京大学生産技術研究所 他
(株)IHI 瑞穂工場
日野自動車工業(株)
(株)ジェイテクト 東京工場

西川 直人 今回の研修旅行では、訪問先の企業、大学で話を聞くことによって、物事の見え方が変わりました。自分自身が、これからどのようにしたらいいかを考える良い機会になりました。ここで感じたことを、今後の就職活動に活かしていきたいです。

古財 圭祐 来年の今頃は進路を決めて、勉強や就職活動を行っていると思います。そのため、今回の研修を行った企業や大学で社員の方々の話を聞いていると、私達も社会人としての意識を持ち始めなければと、気が引き締まりました。卒業するまでの残された期間を、自分が納得できる進路決定のために、時間を有効に使って過ごしていきたいと思いました。

土屋 秀峰 初めての事ばかりの研修旅行で良い経験になりました。企業見学では、大きな工場を見学しながら、将来の自分がどのような所で働いているかがイメージでき、これからの努力の源にもなりました。



4年生 研修旅行

5月10日(火)～13日(金)



研修旅行を終えて 4I 古賀 友渉

NTTドコモR&Dセンタ展示ホール
東芝未来科学館
富士通テクノロジーホール
全日本空輸(株)
ANA機体メンテナンスセンター

私達は3泊4日で、東京・横浜へ研修旅行へ行きました。今までとは異なり、高専4年生という立場で企業の皆様の元へ見学させて頂けたこの経験は、とても貴重なものだったと実感しています。

NTTドコモ R&Dセンタでは、指を耳に当てると、それだけで音が聞こえる指輪型の装置や、写真に写っている登録済みの人の顔を見ると、その人の情報が顔認証により取得可能な眼鏡型デバイスを見学・体験させて頂き、他にも富士通川崎工場では、映像すかし技術や画面を超音波で震動触感を表現するなどの技術も見て来ました。どの技術も基本的にはまだ商品化されていなかったり、実験段階で日常的に利用されている訳ではなかったのですが、利用される未来は遠くないと実感できるものでした。

今回の研修で、新しい技術の発展や、その普及に携わる人達を見て、これまで以上に自覚を持って高専生活に望むことができたと思いました。



人生初の異国交流 4C 上田 龍二

今回私達は3泊5日シンガポールで研修を行った。日本から出るのは初めてなので、違う国の生活の様子や環境にはとても興味があった。シンガポールは様々な年代の建物が建ち並んでおり真新しいビルの近くに歴史的建造物があるのには不思議な感じがした。またインド系、マレー系、中国系といったようにシンガポールには多くの国の特色を持つ人が入り乱れており、それを最も強く感じたのがリトルインディア、チャイナタウンの、それぞれの国の人々が集まってできたエリアだった。同じ国にいなから、別の国に来てしまったかと錯覚するほど特徴的であった。

シンガポールの研修においても一つ楽し





フジオイル(株)
ニューウォーター・ビジターセンター
シンガポールポリテクニク校

みにしていたのが、シンガポールポリテクニク通称SPの学生との交流である。SPでは高専にはない学科があり、興味を惹かれたのが香水や芳香剤を研究する学科だった。学校が会社と協力し、製品を作る取り組みには感動した。学生同士の交流会では、頑張ってあまり得意でない英語で会話をした。またシンガポールの果物を振舞っていただいた際は、ドリアンを初めて食べてその匂いに驚いた。「楽しさ」とともに、もっと英語をしゃべれたらという「悔しさ」を感じたSP訪問だった。

今思うととても短く感じてしまう3泊5日の研修であったが、この研修で得たものはしっかりと心と体に刻み込まれた。



研修旅行の感想

4E 千口 克也

日産自動車(株) 横浜工場
新日鐵住金(株) 君津製鐵所
東燃ゼネラル石油(株) 千葉工場
全日本空輸(株) ANA機体メンテナンスセンター

電気工学科は、3泊4日の研修旅行を関東地区方面で行ってきました。

1日目の日産自動車(株)横浜工場は、主に車のエンジンを作っている工場で、エンジンの展示や工場の中を見学しながら、エンジンの種類や仕組みについて学びました。2日目は東燃ゼネラル石油(株)千葉工場に行き、石油や石油製品の精製工程を学んだ後、バスの中から工場を見学しました。4日目の見学は、全日本空輸(株)ANA機体メンテナンスセンターで、飛行機やその整備を間近で見学することができました。これら3つの会社とも多くの場面で電気技術が駆使されており、改めて電気技術者の重要性を実感することができました。学生も意欲的な見学姿勢で、質問も多く出され、就職に対する意識が向上した研修であったと思います。

3日目の自主研修では、各々グループで散策した東京の街で、楽しく有意義な1日を過ごしました。



研修旅行を通して

4A 納富 可奈子

天保山ハーバービレッジ・海遊館
ピース大阪国際平和センター
法隆寺・唐招提寺・東大寺
竹中大工道具館・北野異人館 他

私達建築学科の研修は関西で行われました。

大阪では、展示施設や高層ビルなどの現代建築を見学しました。独特な屋根の形状、そして見に来た人々を楽しませる内部空間の工夫が随所に施されていました。

京都・奈良では、世界遺産・国宝といった日本が世界に誇る木造建築を見ました。木造とは思えないほどの壮大なスケールと、繊細な装飾の数々に私達は圧倒されました。授業で学んだ建物を実際に見ることで、資料では伝わってこなかった雰囲気や体感することができ、理解が深まるとともに、今までの知識を確かなものにすることができました。

神戸の竹中道具館では、素晴らしい木造建築を完成させてきた職人の道具・技術を見て、新たな角度から日本の木造建築について考えることができました。

この4日間で多種多様な建物を見て、多くのことを学びました。新たな知識を得ることのできた有意義な時間でした。



JABEE認定継続実地審査を終えて

学校運営検討委員会委員長 南 明宏

本校は、平成27年11月に、JABEE 認定継続の実地審査を受審しました。平成16年度、最初のJABEE 認定審査受審も含め、今回で通算3回目の認定継続審査受審となりました。審査結果は、本校初の最高評価の有効期間6年〔JABEE 認定最長期間（平成27年度～平成32年度まで）〕の「可」認定継続（技術士の一次試験免除）をいただきました。これもひとえに、教職員、在校生および卒業生の皆様方の弛まぬ教育活動・支援の賜物と思われまふ。審査基準項目は基準1から基準4まで分類され、これらの基準が26項目に細分化され、審査員はさらにこれらを90項目近くに分けてチェックされます。この26項目において、A（適合）、C（懸念）判定のみの場合には有効期間6年の認定、W（弱点）判定が1個でもあれば、有効期間3年、D（欠陥）判定は不認定となります。今回の実施審査では、A（21項目）、C（4項目）、未判定1項目でした。

最後に、本実地審査に携わられた方々のご協力・ご尽力およびご支援等に深く感謝致します。



学生の活躍

LSIデザインコンテスト

専攻科2年 安部 成就

平成28年3月11日に琉球大学で開催された「第19回LSIデザインコンテスト in 沖縄」に参加し、準優勝（Analog Devices Inc. AWARD）をいただきました。

今年のLSIデザインコンテストのテーマは、「画像のパターンマッチング演算ユニットのハードウェア設計」でした。国内の大学や高専、インド、ベトナムから30チームの応募があり、選考に残った13チームがコンテストに参加しました。

去年のLSIデザインコンテストで受賞された近藤一輝さんから、回路設計を行えるデバイス（FPGA）について手ほどきを受けながら、12月～2月の3カ月という限られた時間のなかで回路設計を行いました。

2月には書類選考を通過し、最終選考では英語によるプレゼンテーションで成果を発表しました。コンテストで準優勝した経験を活かし、研究や後輩の育成に力を注いでいきたいと考えています。



ソレノイドコンテスト

4M 中垣 拓望

今年の2月、モノづくりが好きな友人6人とタカハ機工主催の「ソレノイドコンテスト」という発明コンテストに「全自動割り箸割り機」を応募した。なぜ「割り箸割り機」かというと、手を洗わなくても割り箸を清潔に割る事は勿論だが、増加する外国人旅行者に「割り箸」と「自動機械」と「おもてなし」がコラボした日本文化をPRしたいと考えたからだ。早速、開発に取りかかり試作と実験を何度も繰り返すが割り箸には一膳一膳クセや特徴があり、なかなか思うように割れてくれない。遅くまで学校に残り試行錯誤を重ねた末、締切り間際になり何とか完成することができた。審査結果の発表で「ソレコン大賞」を受賞したと聞いた時、我々の努力と、割り箸に青春と情熱を捧げた健気な姿勢が認められた気がして嬉しかった。

その後、複数のTV局から開発した割り箸割り機やプロジェクトチームの取材を受け、非常に貴重な経験をさせてもらった。来年の大会でも2連覇目指し、更に面白いアイデアを出していきたい。



写真中央が筆者

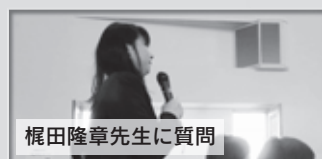
日本物理学会に参加して

4C 坂口 ももか

私たち2名（4C大淵しいな、筆者）は日本物理学会第71回年次大会Jr.セッションに「Y系超伝導体の作製とその特性検証～金型の加工・作製から～」というテーマで応募し、事前審査を経て、3月22日に東北学院大学泉キャンパスでポスター発表してきました。私たちの研究は、3年生の課題研究として4M熊谷千尋さん、中垣拓望君と夏から行ってきたものです。学会での発表は初めてで不安も大きかったのですが、難しい質問にもきちんと対応でき、半年間頑張ってきた良かったと思っています。共同研究者の大淵さん、熊谷さん、中垣君、研究の応援をしてくださった先生方にはとても感謝しています。なお、有明次世代科学クラブOBで1年3組の横山昂君は「摩擦及び抵抗を考慮した球の斜方投射における飛距離に関する検討」というテーマで奨励賞を受賞しました。



右が筆者



梶田隆章先生に質問



横山君

2年生研修旅行

混合学級の2年生は、「教養を高め、社会性を身につける」と「クラスの親睦」を目的に、クラス毎に九州国立博物館とその周辺を見学して研修を行ってきました。

九州国立博物館（常設展）の感想

- 展示物の中には、古代の人々の暮らしの中で日常的に使われていたであろう木製のすきなどがあり、個人的にはかなり感動しました。教科書の中の写真に出てきたものもあって、実物大の迫力を感じることができました。
- 常設展の見学をしたが、国宝である金印を初めて見た。意外と小さくて驚いた。また実際に触ることができる展示や大きいスケールのある展示があり、とても楽しめた。次は特別展を見に行きたいと思う。
- 展示物の中には、教科書に出てくるような有名なものも展示してあり、知っているものを実際に見ることができた。ほかにもお皿や壺の歴史ごとの違いや特徴などを確認したり、歴史の品々に触れることができるコーナーでは、触ってみたり、においをかいでみたりと良い経験ができた。知らないものを見るのもいいけれど、事前に歴史についての知識があれば、もっと楽しめるなどと思った。

九州国立博物館（バックヤードツアー）の感想

- 床下の免震装置は滅多に見ることができないものなので見られてよかった。また、あの大きな建物を地震から守っていることを知り驚いた。博物館の建物としての構造なども聞けて、学ぶことが沢山あった。なかなか聞くことのできない話なので、これから建築を学ぶ上で生かしていきたい。また、展示物を修復する過程なども知ることができ、技術者のすこさを改めて知った。特に印象に残っているのはCTスキャンでみた仏像だ。
- バックヤードツアーでは、歴史的な文化財やできごとについて学ぶことができ、建築のことについても学ぶことができました。建築物のデザインや構造についてはとても良いことを知ることができたと思います。一番心に残ったのは、免震構造についてでした。専門分野ということだけでなく、最近起きた熊本地震にも関係があって、そのことについて知ることができたのはとてもいい経験でした。
- 今回は熊本の震災の直後ということもあり、免震構造に注目した。衝撃の吸収のためにわざと揺れる、すべるようにする技術は知ってはいしたが、実際に機能したと聞き、その合理性に改めて納得がいった。また保管庫の構造が特に印象的であった。いくつかの部屋に区切り、火事が起きた場合、その部屋のみをガスで満たすというのは災害のその後のことまで考えられ、非常に感心した。

3組



4組



5組



1組



2組



班別見学の感想

【太宰府天満宮】有名ということもあって、一般客の他に、学生や外国人観光客が多く見受けられた。中国（韓国？）のテレビ局の取材も来ていて、びっくりした。また、おみくじや絵馬、お守りなどの種類が豊富で、観光ついでに購入する人がたくさんいた。さらに、行く途中の架け橋や鯉などの景観もよくてこれも人をひきつける魅力の一つかなと思った。

【食べ歩き】たくさん種類のソフトクリームを9班の人たちと一緒に皆違う味を頼んだ!!どれもおいしかった♪ 豚まん!!冷めた後でも温めたら肉汁がすごかった!!食べ方も独特ですごくおいしかった♪ 唐揚げ!!アツアツで、ゆずこしょうがすごく辛かった。つけすぎに注意! わたあめをM君に作ってもらった。おいしかった! ありがとう!!

研修旅行全体の感想

- 今回の研修旅行で良かったのは、女子の全員と話せるようになったことです。お弁当をみんなで食べて、先生をいじったりして楽しかったです。人見知りで自分から話しかけたりなどあまりできなかったけれど、みんなフレンドリーですぐに話せるようになりました。そして、参道での食べ歩きが一番楽しかったです。顔くらいの大きさの肉まんは肉汁いっぱいであつたのでとてもおいしかったです。帰りにダッシュで買ったソフトクリームは、もうちょっとゆっくり味わって食べたかったです。
- 反省する点は、班行動です。班の人とあまり話せず、班行動できなかったです。少しずつ話せるようになったらいいなと思います。
- 今回の研修旅行全体の感想は、全体的にしっかりと活動を行えたと思います。活動中は、しっかりと班の人の行きたい所に向かい、悔いのないように研修を行うことができました。個人的に残っているのは、博物館の常設展での教科書に載っている南蛮渡来図のような物と、バックヤードツアーでの博物館の裏の部分を見ることができたところで、こんなことをしているのかと、とても勉強になりました。また、今回は桜や紅葉のシーズンでもなく平日だったので、人の数もそこまで多くなく、研修活動がしやすいかったです。

岱明寮だより

寮務主事補 高本 雅裕

寮生指導者研修会

4月4日(月)、寮生指導者研修会が寮食堂にて行われました。寮生会役員と指導寮生、岱明寮スタッフ、そして今年度から新しく男子棟の各階に任命されたフロア長を加えた総勢51名で、寮生遵守事項の確認・今年度の寮の運営方針について意見交換を行いました。

今年度の重点目標

挨拶をつなげよう

寮長 4E 裊川君より

今年度のスローガン「挨拶をつなげよう」が発表されました。

岱明寮防災避難訓練

4月12日(火)、岱明寮において、防災避難訓練を実施しました。訓練火災の放送により、実際に消防署への通報や、寮生全員の避難を行いました。その後、消防署の方より、消火器の操作方法や非常梯子の展開方法などの説明をしていただきました。



非常梯子を展開中



消火器の操作方法の説明を聞く寮生

入寮式・入寮オリエンテーション

4月6日(水)、寮食堂において、入寮式・入寮オリエンテーションが行われました。今年度は1年生70名、4年次編入生10名、留学生2名が、新たに岱明寮の仲間となりました。高橋校長・菅沼寮務主事のお話の後、岱明寮スタッフの紹介、寮務主事補から寮生活についての説明、寮長や指導寮生の挨拶がありました。

校長先生のお話



指導寮生の挨拶



新入寮生歓迎夕食会

4月19日(火)、寮食堂において、新入寮生歓迎会が行われました。校長・寮務主事の挨拶、出席教職員の紹介の後、恒例の新入寮生一人一人による自己紹介が行われました。夕食は豪華なバイキングが用意され、楽しいひと時を過ごしました。

1年生が元気に自己紹介



春季歓迎球技大会

4月28日 (木)

体育局局长 4M 恒吉 いづみ

今回の球技大会は新入生の歓迎も兼ねて行われました。

各競技の準決勝、決勝では沢山の観客も来てチームの応援をする声が聞こえ、予選でも皆さん気合の入ったプレーで今年の球技大会も盛り上がったと思います。

今回の球技大会では、ホワイトボードの設置、コート役員の配属、1年生を対象とする優秀クラスに対する敢闘賞やフェアプレーに対する特別賞の設置など、学生会として新たな取り組みを行いました。前回よりも1カ月早く開催され沢山の失敗もしました。しかし、皆さんの協力のおかげで無事春季歓迎球技大会を終えることができたと思います。

次の冬季球技大会では、今回の失敗をふまえてより良い球技大会にできるよう頑張っていきます。

最優秀クラス	5C
優秀クラス	3M・3E
敢闘賞	1-4
特別賞	1-3

【雨天時競技】

競 技	優 勝	MVP
バレーA	3M	畑島 昂希
バレーB	3E	古川 光広
女子バレー	5C	木戸 可純
卓球	5C	與田 大晃



授業参観

5月2日 (月)

平成28年5月2日(月)、本校では、授業参観、後援会総会およびクラス懇談会が行われました。

授業参観は3コマ目(13:00-14:30)に行われ、その後、第一体育館で後援会総会(14:45-16:00)および各クラス教室で担任とのクラス懇談会(16:10-17:00)が行われました。

今回は約370名の保護者が来校され、熱心に各クラスの授業を参観されていました。低学年のクラスでは教室に入りきれずに廊下から参観される姿も見られました。

保護者の皆様、ありがとうございました。



校長講話

5月6日(金)～20日(金)

当初、5月11日～13日に予定されていた本科1年生対象の新入生阿蘇オリエンテーションは熊本地震(4月14日21時26分に発生したM6.5の前震、16日1:25に発生したM7.3の本震及びその後の余震)の影響により中止となりました。

その代わり、5月6日～20日にかけて、1年生の各クラスでは、高橋校長先生から講話があり、高専の特徴や高

専生活等について分かりやすく話していただきました。これから5年間の高専生活を送るにあたっての指針が示され、1年生達はおおいに励まされたようでした。

また別の日に、教務主事の吉田先生、進路支援室長の塚本先生からもそれぞれ講話がありました。

1年生の皆さんの成長を期待します。



平成27年度 卒業式・修了式

3月15日(火)

3月15日(火)、第一体育館で第49回卒業式・第14回修了式が挙行され、卒業生191名、修了生28名が本校を巣立っていきました。答辞は、電気工学科の岡龍誠さ

んが卒業生を代表して行いました。

卒業生・修了生の皆様のご活躍を期待しています。



卒業生・修了生の進路

機械工学科

IHI 花王 自衛隊（一般曹） トヨタ自動車 ファナック 三菱日立パワーシステムズ ヤマハモーターエンジニアリング 有明高専専攻科	旭化成 鹿島クレス シマノ 西日本旅客鉄道 本田技研工業 村田機械 ヤンマー建機 豊橋技術科学大学	大阪ガス 黒崎播磨 セイコーエプソン 日本車輛 マツダE&T 明治 ロッテ	オーレック キヤノンシステムアンドサポート ダイキン工業 日立造船 三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所 安川電機
--	--	---	--

電気工学科

ANAラインメンテナンステクニクス 京セラ 昭栄化学工業 ダイキン工業 東海旅客鉄道 福岡日信電子 ニチゾウテック マツダ 有明高専専攻科	化学及血清療法研究所 九州電力 JFE スチール 中部電力 東京ガス 富士テクノサービス 日本電子 三井化学 佐賀大学	NEC ネットエスアイ 沢井製薬 セイコーNPC 東京電力 トヨタ自動車 富士電機 日東電工 三井三池製作所 九州工業大学	キヤノン シマノ ソニーセミコンダクタ 東芝 ファナック フジテック 日立システムズファシリティサービス 三菱電機システムサービス 豊橋技術科学大学
---	---	---	--

電子情報工学科

アカツキ NOK キヤノン CTCテクノロジー ソニーセミコンダクタ 東芝ITサービス 三菱電機エンジニアリング 有明高専専攻科 久留米工業大学	アマゾンジャパン NTTコムエンジニアリング サンテクノ ジーサウスシステムズ ソフトサービス ソニーイーエムシーエス ブラザー工業 佐賀大学 熊本大学	NEC フィールディング NTTコムソリューションズ 自衛隊（航空学生） ジャパンマリンユナイテッド ダイハツ 東和薬品 九州工業大学 豊橋技術科学大学	NHK オートメーション・テクノロジー CTCシステムマネジメント ジェイエムテクノロジー 東芝 トヨタコミュニケーションシステム 東京農工大学 鹿児島大学
--	--	---	---

物質工学科

旭化成 三洋化成 第一三共プロファーマ タカギ 新日鉄住金 日本触媒 有明高専専攻科 熊本大学	アドバンテック 昭和電工 第一製網 東レ 東燃ゼネラル石油 不二製油 豊橋技術科学大学	出光 住友精化 ダイキン工業 東京ガス ニプロ 三井金属 九州大学	花王 ソニーセミコンダクタ 大日精化工業 東洋新薬 日東電工 明治 茨城大学
--	---	---	--

建築学科

イシモク・コーポレーション 九鉄工業 ダイダン TAK-QS 福岡市役所 三井住友建設 有明高専専攻科	NTT ファシリティーズ九州 JIN 建築設計 ダイワ化成 東京ガス 松井建設 三菱化学エンジニアリング 熊本大学	大林組 JNC エンジニアリング 高砂熱学工業 東洋鋼板 松尾建設 ミルックス 鹿児島大学	鹿島クレス JFE シビル 竹中工務店 西日本高速道路 MAKI HAUS 若尾建設 千葉大学
---	---	---	---

専攻科

凸版印刷 ニッセイコム 和光純薬工業 鹿島建設 熊本大学大学院 佐賀大学大学院	マツダ ASKプロジェクト JNC 竹中工務店 九州工業大学大学院 京都大学大学院	カンセツ ソフトサービス DIC 九州旅客鉄道 九州大学大学院	NTTデータ 木村情報技術 JFEシビル 建築企画コム・フォレスト 東京工業大学大学院
--	--	---	---

学生表彰

	成績優秀者	学会表彰者
機械工学科	松野 智弘	西久保友紀（日本機械学会畠山賞）
電気工学科	大塚 絢貴	松田 佑樹（電気学会九州支部長賞）
電子情報工学科	堤 野乃花	原 勇太郎（電子情報通信学会九州支部成績優秀賞）
物質工学科	池末 浩大	HIRASU TUMEGAS MANALU（ヒラストゥメガス マナル）（日本化学会九州支部長賞）
建築学科	小宮 慎二	三栗野鈴菜（日本建築学会九州支部長賞）
専攻科	氏名	表彰理由
	西 広規	高専機構学生表彰（学業及び研究）



有明次世代科学クラブ

人間・福祉工学系 坪根 弘明

“環境問題の解決を担うエリート科学者養成プログラム『有明次世代科学クラブ』”について、4年目となる平成27年度は『海苔分離装置の実用化』をテーマに、近隣地域の12名の中学1～3年生が参加して実施してきました。また、小中学校とも連携して、『第3回子ども環境会議2016』を3月に開催しました。

次に、平成28年度はこれまでと少し異なり、“地域丸ごとPBL教育”を目指し、有明次世代科学クラブでは周辺地域の諸問題に科学・工学的な視点から取り組んでいく予定です。今年度の活動もご期待ください。



実験の様子



第3回子ども環境会議2016での発表の様子

高専女子フォーラム

3I 久保 菜々子

3月21日(月)に北九州市の西日本総合展示場で開催された「高専女子フォーラムin九州沖縄」に参加してきました。本フォーラムでは、九州沖縄地区の高専女子学生が①学生生活、②専門教育、③研究のいずれかをテーマとして、女子中学生や企業の方々に対して発表を行いました。私は、有明高専女子学生の会「A-Tech」で活動してきた内容について報告させていただきました。当日は、企業からの会社説明を聞く機会も与えていただき、高専生が求められていることや女性社員への待遇などを聞くこともできました。今後、自分の進路を考えていく上で大変役に立つ経験をさせていただきました。



上段右から3番目が筆者



発表の様子

シンガポール交流プログラム

環境・エネルギー工学系 大河平 紀司

国際交流事業の一環として3月19日(土)～29日(火)の11日間、本校の2年生3名、3年生10名、専攻科生2名の計15名(男子7名、女子8名)の学生、および引率教員2名が姉妹校であるシンガポールポリテクニック校(SP)を訪問しました。幸いにも天気にも恵まれ、マリーオンやマリナベイサンズ、USSをはじめとしたシンガポールの観光所巡り、SP校内で企画していただいた各種イベントに参加し、非常に充実した有意義な時間を過ごすことができました。文化や風習の違い、日本ではできない体験、国境を越えた友人関係の構築等、本プログラムに参加する意義は非常に高いと思います。次の機会には、皆さんも是非参加してみたいはいかがでしょうか。



編集後記

広報室 山口 智子

新年度が始まり2週間ほど経った4月14日夜、熊本地方を震源とする平成28年熊本地震が発生しました。石垣が崩れた熊本城や崩落した阿蘇大橋の映像は、熊本県民のみならず、日本中に大きな衝撃を与えました。

この地震の影響で、新入生阿蘇オリエンテーションも中止とならざるを得ませんでした。新入生の皆さんにとっては残念なこととなりましたが、これからの学校生活には、高専大会や高専祭等のイベントがたくさん待っています。どんなことにも全力で取り組み、高専での学生生活を悔いのないよう過ごしてください。

最後になりますが、先の地震で被災された方々の心身の回復と、1日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

有明高専だより 第149号

平成28年6月30日

編集：有明高専広報室

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8775 (学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>

花咲く技術を
-Here are Lights-

